



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 武蔵野興業株式会社
コード番号 9635

上場取引所 東・福

URL <https://www.musashino-k.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	286	△5.6	19	358.8	17	44.8	15	38.3
2026年3月期第1四半期	303	△4.2	4	△73.9	12	△33.3	11	△37.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 16百万円 (45.6%) 2026年3月期第1四半期 11百万円 (△37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	15.02	—
2026年3月期第1四半期	10.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	6,324	3,994	63.2	3,818.35
2026年3月期	6,337	3,977	62.8	3,802.20

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 3,994百万円 2026年3月期 3,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,200	△9.8	10	△85.4	35	△63.7	30	△91.7
								28.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	1,050,000株	2026年3月期	1,050,000株
2027年3月期1Q	3,921株	2026年3月期	3,921株
2027年3月期1Q	1,046,079株	2026年3月期1Q	1,046,170株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用や所得環境の改善などが下支えとなり景気は緩やかな回復基調で推移する一方、物価上昇がもたらす個人消費へのマイナス影響に加え、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなど、引き続き先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業部門において業績の向上に努めてまいりました。その結果、全体として売上高は2億8千6百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は1千9百万円（前年同期比358.8%増）、経常利益は1千7百万円（前年同期比44.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千5百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

（映画事業部門）

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、『オールド・オーク』『旅立ちのラストダンス』『君と僕の5分』などを上映し、なかでも『オールド・オーク』はロングランとなり好調に推移しましたが、前年度に1館閉館したことにより前年同期比で減収となりました。また、当社が主催する新宿東口映画祭は、今年で6年目を迎え、「スクリーンでまた逢える」をテーマに邦画・洋画の名作、アニメ、カツベン映画などバラエティに富んだ作品を上映し、幅広い層のお客様に鑑賞いただきました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『Dr. カキゾエ 歩く処方箋～みちのく潮風トレイルを往く～』（邦画）は地方を中心に上映が継続的に行われました。また、当社（武蔵野興業）の配給作品『夢物語 The Living Dragon』（2026年7月17日公開）の公開に先立ち、5月には「新宿東口映画祭2026」にて特別上映、6月には完成披露上映会を実施し、いずれもチケットが満席完売となるなど注目を集めました。その結果、部門全体の売上高は7千1百万円（前年同期比21.4%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は1千万円のセグメント損失）となりました。

（不動産事業部門）

不動産賃貸部門におきましては、主要テナントビルの設備更新など維持管理を図りつつ、テナント収入が安定的に推移することで、不動産賃貸部門は堅調に推移しました。不動産販売部門におきましては、引き続き仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は1億4千3百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント利益は8千3百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

（自動車教習事業部門）

自動車教習事業部門におきましては、普通車、準中型車、大型・普通二輪車教習等に係る新規入所者数が好調に推移し、前年の実績を上回りました。また、受け入れ態勢強化による高齢者講習の実施数も前年同期間を上回り好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は6千8百万円（前年同期比4.5%増）、セグメント損失は0百万円（前年同期は2百万円のセグメント損失）となりました。

（商事事業部門）

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績は梅雨時期の天候の影響などにより伸び悩み、前年同期の水準を若干下回りました。その結果、部門全体の売上高は1百万円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

（その他）

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は1百万円（前年同期比13.6%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期比15.6%増）となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は、減価償却による固定資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ1千2百万円減の63億2千4百万円となりました。

(負債)

負債合計は、未払債務の減少や有利子負債の返済による減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ2千9百万円減の23億3千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ1千6百万円増の39億9千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては、2026年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,169,613	1,202,309
売掛金	29,663	28,740
棚卸資産	1,129	998
その他	115,462	83,831
流動資産合計	1,315,869	1,315,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	473,860	465,763
機械装置及び運搬具（純額）	43,186	38,804
工具、器具及び備品（純額）	20,742	20,502
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産（純額）	3,994	3,536
有形固定資産合計	4,445,951	4,432,774
無形固定資産		
借地権	73,315	73,315
その他	10,794	10,507
無形固定資産合計	84,110	83,823
投資その他の資産		
投資有価証券	375,461	373,924
繰延税金資産	42,658	43,765
敷金及び保証金	44,521	44,521
その他	32,948	34,318
貸倒引当金	△4,124	△4,184
投資その他の資産合計	491,466	492,345
固定資産合計	5,021,528	5,008,943
資産合計	6,337,398	6,324,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,011	39,422
1年内返済予定の長期借入金	52,128	52,128
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	18,630	5,663
賞与引当金	14,302	22,912
その他	215,177	217,284
流動負債合計	357,082	339,244
固定負債		
長期借入金	208,997	195,965
リース債務	2,162	1,704
退職給付に係る負債	42,185	44,035
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	618,369	618,369
再評価に係る繰延税金負債	1,113,651	1,113,651
その他	8,645	8,655
固定負債合計	2,002,917	1,991,288
負債合計	2,359,999	2,330,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	556,357	572,065
自己株式	△9,371	△9,371
株主資本合計	1,551,485	1,567,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,284	6,468
土地再評価差額金	2,420,628	2,420,628
その他の包括利益累計額合計	2,425,913	2,427,097
純資産合計	3,977,399	3,994,290
負債純資産合計	6,337,398	6,324,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	303,418	286,403
売上原価	145,658	114,303
売上総利益	157,759	172,100
販売費及び一般管理費	153,502	152,568
営業利益	4,257	19,532
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,490	1,250
持分法による投資利益	7,026	-
その他	333	1,008
営業外収益合計	8,850	2,258
営業外費用		
支払利息	675	568
持分法による投資損失	-	3,265
その他	42	12
営業外費用合計	718	3,846
経常利益	12,389	17,944
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	12,389	17,944
法人税、住民税及び事業税	883	3,887
法人税等調整額	145	△1,651
法人税等合計	1,028	2,235
四半期純利益	11,360	15,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,360	15,708

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	11,360	15,708
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	237	1,183
その他の包括利益合計	237	1,183
四半期包括利益	11,598	16,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,598	16,891

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において「短期借入金」に含めて表示していた長期借入金のうち1年以内返済予定額については、表示の明瞭性を高めるため、当第1四半期連結会計期間より「1年内返済予定の長期借入金」として表示しております。

この表示方法の変更を反映させるため、比較情報である前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「短期借入金」に表示していた52,128千円は、「1年内返済予定の長期借入金」52,128千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	90,390	11,024	65,284	1,921	168,620	1,452	170,073
その他の収益	—	133,345	—	—	133,345	—	133,345
外部顧客への売上高	90,390	144,370	65,284	1,921	301,966	1,452	303,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	900	—	—	900	—	900
計	90,390	145,270	65,284	1,921	302,866	1,452	304,318
セグメント利益又は損失(△)	△10,408	83,547	△2,608	1,921	72,451	1,393	73,845

(注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	72,451
「その他」の区分の利益	1,393
セグメント間取引消去	3,221
全社費用(注)	△72,809
四半期連結損益計算書の営業利益	4,257

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	71,053	10,151	68,233	1,870	151,309	1,649	152,959
その他の収益	—	133,444	—	—	133,444	—	133,444
外部顧客への売上高	71,053	143,595	68,233	1,870	284,754	1,649	286,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	900	—	—	900	—	900
計	71,053	144,495	68,233	1,870	285,654	1,649	287,303
セグメント利益又は損失(△)	1,508	83,625	△942	1,870	86,061	1,610	87,672

(注) 「その他」の区分は主として自販機手数料等であり、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	86,061
「その他」の区分の利益	1,610
セグメント間取引消去	1,898
全社費用(注)	△70,037
四半期連結損益計算書の営業利益	19,532

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。4. 報告セグメントごとの資産に関する情報
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	18,051千円	19,504千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。